同日選意識 30の参院1人区一本化

野党臨選態勢 核心

5党派と市民連合 政策協定

立憲民主党など野党五党派は二十九日の党首会談で、参院選の勝敗を左右する三十二の改選一人区について、決定済みを含む計二十選挙区での候補者一本化に合意した。五党派はこの日、一安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」と政策協定を締結し、参院選を戦う態勢を整えた。衆参同日選の観測が広がる中、野党は参院選の一本化作業を終え、衆院選での候補者調整を本格化させなければ惨敗しかねない、との危機感が強い。ただ、衆院選候補者の擁立は進んでおらず、時間との闘いになる。(木谷孝洋、横山大輔)

党首会談で合意 衆院は遅れ

■加速

「参院選一人区での候補者一本化で合意した。衆院選も取りざたされており、調整を加速することで一致した。安倍政権打倒の参院選にするための大事な一歩を踏み出せた」。立憲民主党の枝野幸男代表は国会で開催された党首会談後、記者団にこう語った。

会談に参加したのは、立民のほか、国民民主党、共産党、社民党、衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」の各代表ら。参院選一人区を巡り、新たに十九選挙区で、候補者を一本化することで合意した。

■13項目

野党五党派は党首会談後、市民連合と国会内で会合を開き、参院選に向けた政策協定を締結した。

政策協定は、安倍政権が目指す九条改憲を含む改憲発議の阻止▽安保法制、共謀罪の廃止▽沖縄県名護市辺野古での米軍新基地建設の中止▽十月に予定される消費税率10%への引き上げの中止▽東京電力福島第一原発事故の検証や実効性ある避難計画の策定がないままの原発再稼働の反対―など十三項目。

市民連合呼びかけ人の山口二郎・法政大教授は「参院選こそ与党の議席を大きく減らして政治の転換のきっかけにしないといけない」と指摘。「野党はもう一つの日本、別の選択肢があると訴える必要がある。野党と市民が力を合わせて、選挙を戦い、改憲勢力が(改憲発議に必要な)三分の二を維持するのを打破したい」と結束を呼び掛けた。

■急務

野党五党派が政策の違いを乗り越えて、共闘にこぎつけたのは、第二次安倍政権が発足した二〇一二年以降、野党がばらばらに戦った国政選挙は、与党に惨敗しているからだ。一三年参院選では、三十一あった改選一人区のうち、野党は二勝だった。一七年の衆院選でも多くの選挙区で野党候補が競合し、自民党の圧勝を許した。

これに対して、一六年参院選では三十二の一人区すべてで野党が候補者を一本化。自民党と事実上の一騎打ちの構図をつくり、十一勝二十一敗と健闘した。安全保障関連法廃止という共通政策を掲げ、野党一本化への道筋を付けたのは市民連合だった。

今回は同日選への警戒感から、野党共闘は進んでいるが、肝心の衆院選候補者の擁立が各党とも進んでいない。このままでは、候補者の一本化に向けた調整が遅れ、結果として野党が競合するという過去の失敗を繰り返しかねない。

「共通政策」のポイント

- 9条改憲反対
- 10月の消費税増税の中止
- 安全保障関連法の廃止
- 米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古への移設中止、同飛行場の早期返還
- 地元合意などがない原発の再稼働を認めず、原発ゼロを目指す

参院選改選1人区の状況

選挙区	野党獲得 2013年	16年	自民が「激戦区」指定	今回の構図(対自民)
野党が一本化合意を発表した選挙区				
青森		●	★	立
岩手		●	★	無
宮城		●	★	立
秋田			★	無
山形			★	無
福島		●	★	立
茨城			★	立
栃木			★	無
群馬			★	無
新潟	※1		★	国
富山		●	★	共
石川		●	★	立
福井			★	国
山梨	※1		★	立
長野		●	★	無
岐阜			★	無
三重			★	無
滋賀			★	無
京都			★	無
兵庫			★	共
奈良	※2		★	立
和歌山			★	国
鳥取・島根			★	共
岡山			★	無
広島	※2		★	無
山口			★	無
徳島・高知			★	未定
香川			★	国
愛媛			★	無
佐賀			★	無
長崎			★	無
熊本			★	無
大分		●	★	無
宮崎				国
鹿児島				共
沖縄	●	●	★	社

調整が残る選挙区

※1=13年当時2人区、※2=13年当時各1人区、16年以降各区。●=29日に発表した選挙区。佐賀は一本化で合意したが枠組みは未定。その他の選挙区でも今後の調整で無所属などに変更の可能性あり

改憲 重点公約に 参院選で自民確認

自民党は二十九日、夏の参院選に向けて公約作成委員会を開き、重点項目の一つとして改憲を明記する方針を確認した。改憲を目指す党の姿勢をあらためて示すとともに、停滞している国会での憲法論議を選挙後に加速させる狙いがある。

党政調幹部によると、重点項目は二〇一七年衆院選の公約と同様に計六項目とする方向。一七年衆院選の公約では、改憲は六番目に掲載された。党内には、改憲を目指す党の姿勢を前面に出すため一番目に書くべきだとの意見もあり、安倍晋三首相(党総裁)の意向を踏まえて調整する。

一方、衆院憲法審は二十九日の幹事懇談会で、改憲の是非を問う国民投票の利便性を公職選挙法の規定にそろえる国民投票法改正案の扱いを協議した。与党が提案した二十日の質疑と採決に主要野党が応じず、見送られることになった。自民党国対幹部は二十九日、同改正案を六月二十六日の会期末までに成立させることは難しいとの見通しを示した。

首相は十七日の自民党会合で「憲法を議論する政党か、議論しない政党かを参院選で訴えてもいいのではないか」と話しており、参院選で争点化を図る可能性がある。

また、自民党の森山裕国対委員長は二十九日、今国会の会期延長は不要との考えを示した。東京都内で記者団に「衆院側の法案審議は来週中にめどがつく。会期延長を考える必要はない」と語った。(清水俊介)

野党議員 菅氏に「提言」

衆院選「4年に1度にして」

「五輪は四年に一度で、衆院選も四年に一度にすべきではないか。首相は横綱で、平幕相手に奇襲はやめてほしい」。衆院内閣委員会で二十九日、野党議員が菅義偉官房長官にこう「提言」する場面があった。

国民民主党の谷田川元氏が、安倍晋三首相による過去二回の衆院解散を「恣意的だ」と批判。首相が夏の参院選に合わせ衆参同日選に踏み切るとの観測を念頭に「恣意的解散がないと期待している」と述べ、四年間の任期満了を原則にすべきだと唱えた。

これに対し、菅氏は「内閣が衆院解散を決定することについて憲政上、制約する規定はない」と主張。解散は首相の「伝家の宝刀であり専権事項だ」と語った。

衆参同日選を恐れるような質問に「野党を平幕だとは思っていない。堂々と真正面から議論を交わし、国の前進になればいい」と応じた。(妹尾聡太)

衆院内閣委

「4年に1度にして」

「五輪は四年に一度で、衆院選も四年に一度にすべきではないか。首相は横綱で、平幕相手に奇襲はやめてほしい」。衆院内閣委員会で二十九日、野党議員が菅義偉官房長官にこう「提言」する場面があった。

国民民主党の谷田川元氏が、安倍晋三首相による過去二回の衆院解散を「恣意的だ」と批判。首相が夏の参院選に合わせ衆参同日選に踏み切るとの観測を念頭に「恣意的解散がないと期待している」と述べ、四年間の任期満了を原則にすべきだと唱えた。

これに対し、菅氏は「内閣が衆院解散を決定することについて憲政上、制約する規定はない」と主張。解散は首相の「伝家の宝刀であり専権事項だ」と語った。

衆参同日選を恐れるような質問に「野党を平幕だとは思っていない。堂々と真正面から議論を交わし、国の前進になればいい」と応じた。(妹尾聡太)

ベンジャミン・クレーム著 石川 道子訳

―UFOと彼らの重要な使命―『光の勢力は集合する』定価:本体1800円+税

人類の未来は明るい!『世界教師と覚者方の降臨』定価:本体1800円+税

決断のとき ―世界の再生に向けて

叡知の

人類

多様

【永い進化の旅路を私たちよりも先によって、人類は背後から導かれていく、世界にいる彼らの弟子たちを通じはそのような覚者の弟子の一人でありを務めたシェア・インターナショナル

クレームは、13歳から画家のにもかかわらず、1975年か者方の日常世界への帰還の情報の教えに基づく「現代のマンダ解説も紹介した初めての書であ与えられたといわれている。

「芸術は、それがどんなに巧みプロパガンダ(宣伝)でもない現象や自然の効果の模倣や描写ものである。それは芸術のリア る」―覚者より(本文より)

●主な内容
・覚者のことば
・画家、ベンジャミン・クレーム
・ベンジャミン・クレームの 抽象画と
・「美のために」天界をくまなく探す